

企業理念

ミッション&ビジョン

未来潮流を創る企業グループ

人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、
物流・商流事業を核に、未来を動かすサービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦し、
真に豊かなグローバル社会の実現に貢献します。



スローガン

センコーグループの目指す方向と事業活動への取り組み姿勢を、
コーポレート・スローガンに込めています。

Moving Global

物流を超える 世界を動かす ビジネスを変える



バリュー

私たちは、次の価値観を、
自らのものとして大切にします。(IP CReD)

Integrity
誠実

Passion
情熱

Commitment
責任

Respect
敬意

Diversity
多様性

※略称の「IP、CReD(アイピークレッド)」のIPは同一性保持、CReDはラテン語で志、信条の意味を持ちます。

センコーグループの概観

センコーグループのあゆみ	3
事業概況(At a Glance)	5
事業活動	7
物流事業	
商事・貿易事業	
ライフサポート事業	
ビジネスサポート事業	

持続的な成長のための戦略

事業活動とSDGsの関係性	17
トップメッセージ	19
新中期経営計画	23
特集 センコーグループの脱炭素戦略	27

成長を支える基盤

ESG+Hの取り組み	31
Environment：環境	33
Safety：安全	37
Social：社会	40
Governance：ガバナンス	43
Health：健康	47
TOPICS	48

データセクション

10年間の財務・非財務ハイライト	49
財務レビュー	51
連結財務諸表等	53
株式の状況/会社概要	58

編集方針

在るべき姿を実現するには、財務／非財務の資本をともに生かしていく思考と、迅速で的確な意思決定に基づく企業活動が不可欠です。また、ステークホルダーの皆さまの理解を得られるよう、戦略や企業活動を誠実に情報開示していくことも重要であると考えています。当社グループにとって初めての統合報告書となる本誌は、財務情報に加え、ESG(環境・社会・ガバナンス)を含めたセンコーグループの事業活動全体について、多面的・統合的な編集を行いました。本誌のみならず、コーポレートWEBサイト、「有価証券報告書」や「センコーグループ報告書」等のツールを通じて、適時・適正に情報を開示することで、説明責任を果たしていきます。

参考にしたガイドライン

国際統合報告評議会(IIRC、現VRF)「国際統合報告フレームワーク」
SASB(Sustainability Accounting Standards Board)
経済産業省「価値協創ガイドライン」

報告対象範囲

記載対象範囲は、センコーグループホールディングス(株)ならびにグループ会社の活動です。

報告期間

記載対象期間は、2021年4月から2022年3月までの活動ですが、一部2022年4月以降の事柄も記載しています。

免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

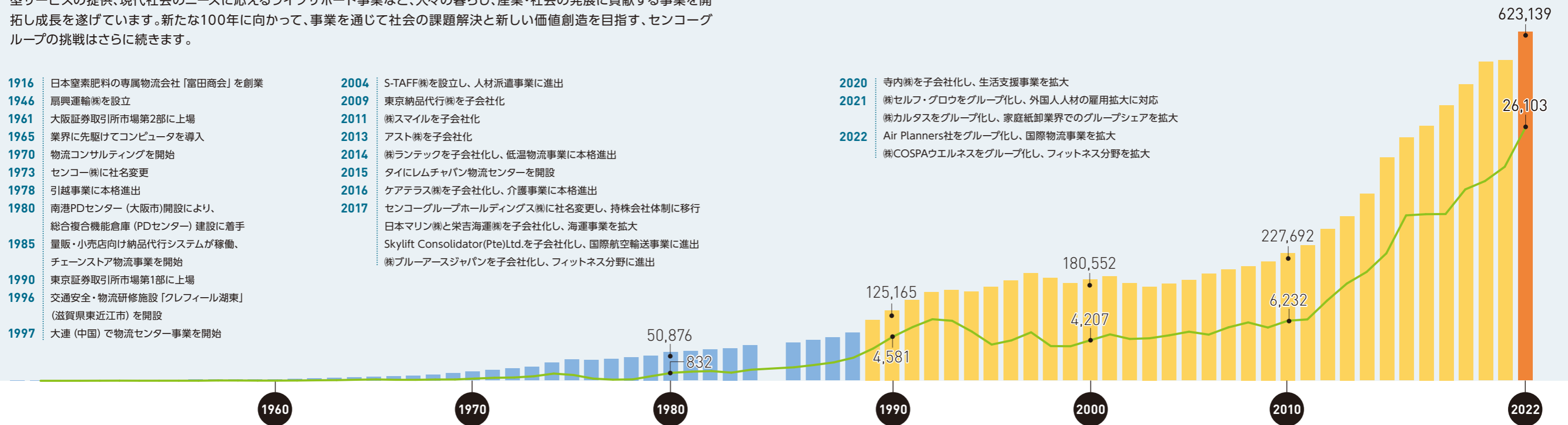
センコーグループのあゆみ

物流の枠を超え、価値創造に挑んできたセンコーグループ これからも人々の暮らし、 社会の発展に貢献する企業であり続けます

1916年、前身の「富田商会」の創業から1世紀。センコーグループは、常に時代に先駆けた変革に挑戦し、業容と業績を拡大してきました。情報と物流を一体化させたオペレーションシステムの導入により「流通情報企業」へ転換。さらに商流・物流一体型サービスの提供、現代社会のニーズに応えるライフサポート事業など、人々の暮らし、産業・社会の発展に貢献する事業を開拓し成長を遂げています。新たな100年に向かって、事業を通じて社会の課題解決と新しい価値創造を目指す、センコーグループの挑戦はさらに続きます。

- 1916** 日本窒素肥料の専属物流会社「富田商会」を創業
- 1946** 扇興運輸(株)を設立
- 1961** 大阪証券取引所市場第2部に上場
- 1965** 業界に先駆けてコンピュータを導入
- 1970** 物流コンサルティングを開始
- 1973** センコー(株)に社名変更
- 1978** 引越事業に本格進出
- 1980** 南港PDセンター(大阪市)開設により、総合複合機能倉庫(PDセンター)建設に着手
- 1985** 量販・小売店向け納品代行システムが稼働、チェーンストア物流事業を開始
- 1990** 東京証券取引所市場第1部に上場
- 1996** 交通安全・物流研修施設「クレフィール湖東」(滋賀県東近江市)を開設
- 1997** 大連(中国)で物流センター事業を開始
- 2004** S-TAFF(株)を設立し、人材派遣事業に進出
- 2009** 東京納品代行(株)を子会社化
- 2011** (株)スマイルを子会社化
- 2013** アスト(株)を子会社化
- 2014** (株)ランテックを子会社化し、低温物流事業に本格進出
- 2015** タイにレムチャバン物流センターを開設
- 2016** ケアテラス(株)を子会社化し、介護事業に本格進出
- 2017** センコーグループホールディングス(株)に社名変更し、持株会社体制に移行
日本マリン(株)と栄吉海運(株)を子会社化し、海運事業を拡大
Skylift Consolidator(Pte)Ltd.を子会社化し、国際航空輸送事業に進出
(株)ブルーアースジャパンを子会社化し、フィットネス分野に進出
- 2020** 寺内(株)を子会社化し、生活支援事業を拡大
- 2021** (株)セルフ・グロウをグループ化し、外国人人材の雇用拡大に対応
(株)カルタスをグループ化し、家庭紙卸業界でのグループシェアを拡大
- 2022** Air Planners社をグループ化し、国際物流事業を拡大
(株)COSPAAウエルネスをグループ化し、フィットネス分野を拡大

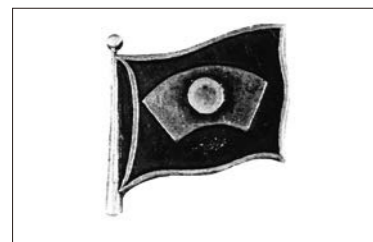
■ 単体売上高(百万円) ■ 連結売上高(百万円) — 経常利益(百万円)



1916 ~

センコーの源流「富田商会」が誕生

1916年、化学工業のコンツェルン、日本窒素肥料の専属物流会社として「富田商会」が誕生。1941年には「日窒運輸」と改組し日本窒素肥料の子会社となりました。戦後の財閥解体政策で日窒運輸は1946年に解散。社名の「扇興」には日本窒素肥料のシンボルマークであった「扇」を採用し、「再興」という志を込めました。



扇興運輸設立当時の社章

1950 ~

輸送体制の整備・拡大

1965年、他社に先駆けコンピュータを導入し、1970年からは物流コンサルタントの養成を開始するなど情報力と提案力を高めていきました。1973年、物流にとどまらないさまざまな事業へ挑戦する決意を込め、社名を「センコー(株)」に変更しました。



1980 ~

総合物流企業への飛躍

1980年から保管・配送・流通加工などの複合機能を持つPDセンターの全国展開を開始しました。また、1985年には大手ホームセンターの業務がスタートしました。1996年、滋賀県に当社の交通安全・物流研修施設「クレフィール湖東」を開設。ドライバーやリフトマンの教育を強化し、現場の品質・生産性向上を図っています。また1981年、米国に現地法人を設立、1996年には中国初の物流センターを開設するなど海外進出が本格化しました。



クレフィール湖東全景

2000 ~

総合物流企業から流通情報企業へ

さまざまな機能を備えた物流センターを国内外に積極展開し、保管面積が大きく増大。またM&Aを本格化し、アパレル・ファッションや冷凍冷蔵輸送などに強みを持つ会社をグループに迎え、提供する物流サービスの多様化を進めました。商事・貿易事業でも、流通商社などをグループに加え、商流・物流一体型サービスを提供するなど、事業領域を拡大させました。



2015 ~

未来潮流を創る企業グループへ

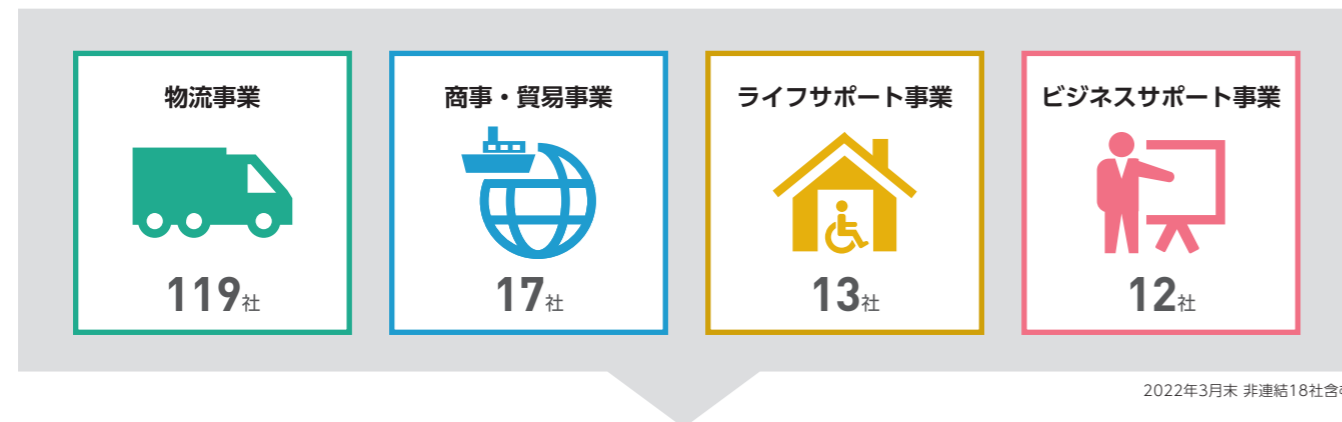
2016年9月、創業100周年を迎えました。また2017年4月、持株会社体制に移行し社名を「センコーグループホールディングス(株)」へ変更するとともに、新たな企業理念を策定しました。物流事業では、海外への物流センター事業の展開を拡大するとともに、物流センターの省人化・機械化を進め、お客さまに付加価値の高い物流を提供しています。さらに、物流、商事・貿易に続く第3の柱を育成するため、ライフサポートなどの新分野を強化しています。



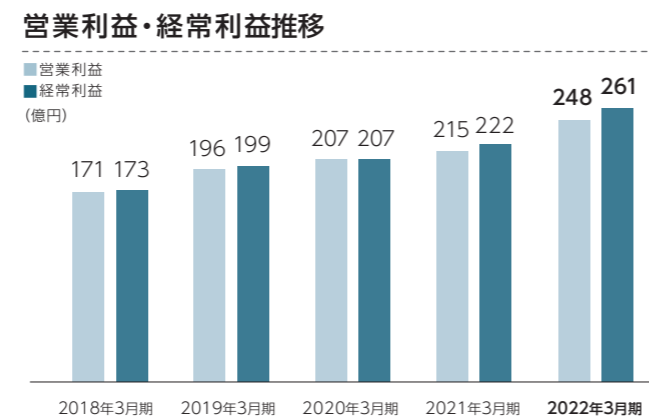
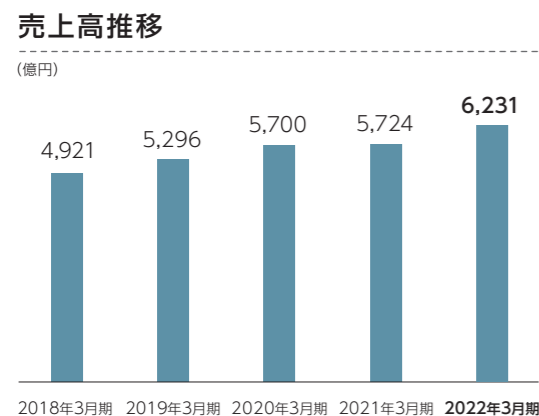
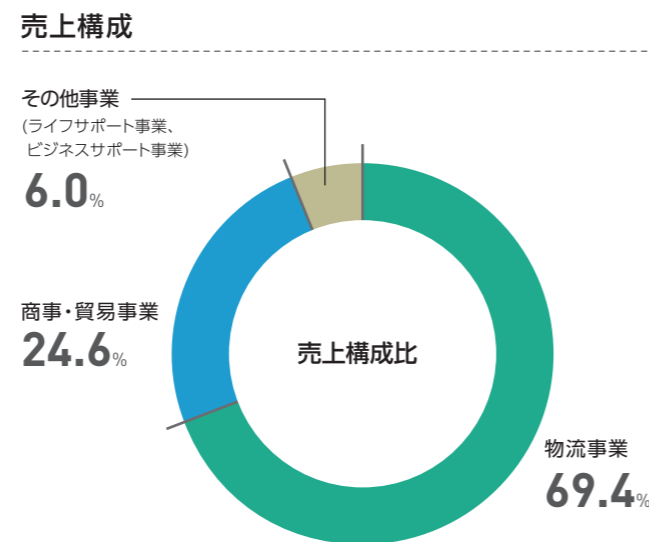
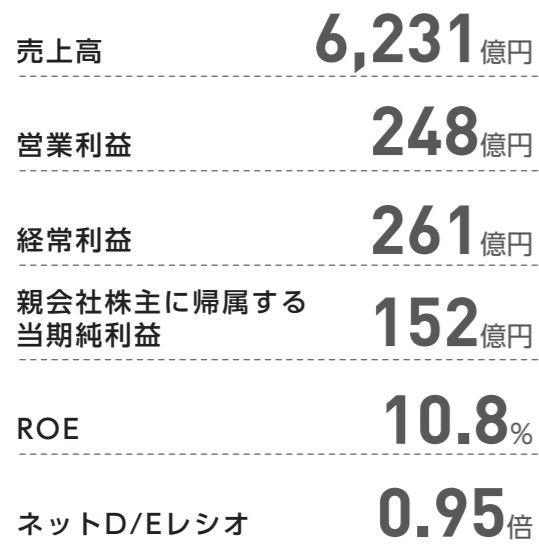
At a Glance

人々と社会に新しい価値を届ける センコーグループの事業展開

成長基盤である「物流事業」を核に、商流と物流を一体化させた「商事・貿易事業」、高度なソリューションサービスを提供する「ビジネスサポート事業」など、グループシナジーを生かし社会インパクトのある事業を展開。また、人々の生活を支援する企業グループとして「ライフサポート事業」に進出するなど、人と社会に新しい価値を届ける事業を創造し業容を拡大しています。



主要な事業指標



Environment

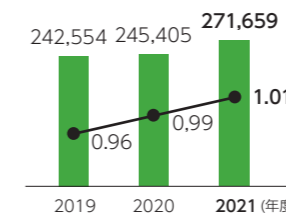
CO₂排出量*1 (陸運事業)

271,659 t-CO₂

売上高100万円当たりCO₂排出量

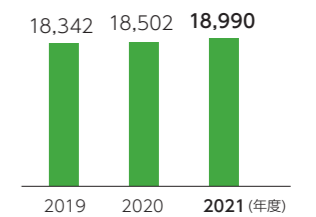
1.01 t-CO₂/100万円

*1 Scope1+Scope2計



再生可能エネルギー太陽光発電実績

18,990千kWh



CO₂削減活動実績

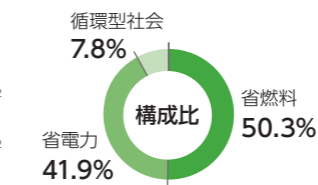
4,306 t-CO₂

Scope1(省燃料) 2,165 t-CO₂

Scope2(省電力) 1,803 t-CO₂

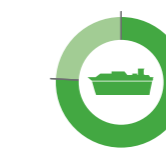
Scope3(循環型社会*2) 338 t-CO₂

*2 再利用・再生することで資源を循環させ、環境への負荷を低減する活動



グリーン物流
モーダルシフト率

76.1%



環境配慮
車両保有比率*3

95.2%



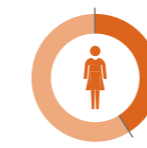
*3 自家非営業車両は除く

Social

ダイバーシティ

新卒採用者に占める
女性の割合

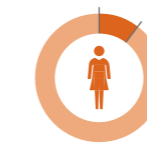
41.2%



(2022年4月定期採用実績)

管理職に占める
女性の割合

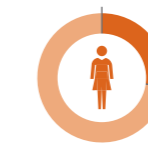
10.4%



(2022年4月1日現在)

女性取締役比率

27.3%



(2022年6月28日現在)

社会活動

交通安全活動

306人



献血活動

735人



Safety

安全性優良事業所
(Gマーク事業所)

取得事業所 186

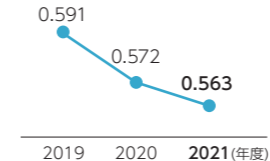
取得率 100%

全国のトラック運送
事業所平均取得率

32.1%

車両事故度数率*4

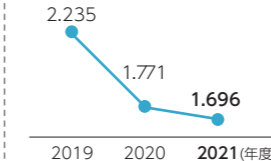
0.563



*4 対象範囲(センコー株、センコーグループ物流会社)

労働災害度数率*4

1.696



Governance

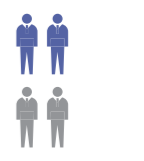
社外取締役比率

36.4%



社外監査役比率

50%



(2022年6月28日現在)

当社が選定されているESGインデックス

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン*5
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株*5
女性活躍指数 (WIN)



*5 MSCI指数への組入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマーク、指数名称の使用は、MSCIやその関連会社によるセンコーグループホールディングス株の後援、保証、販売促進ではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI及びその指数の名称及びロゴは、MSCIやその関連会社の商標またはサービスマークです。

物流

事業グループ

独自の強みを組み合わせ、 『物流を超える』 新しいサービスを提供

総合スーパー・ドラッグストア・アパレルなどの流通ロジスティクス、長年の実績を誇る住宅物流、ケミカル物流、さらに低温（冷凍・冷蔵）物流の全国ネットワークを構築する食品物流まで、幅広い業界・業種のお客さまに総合力を駆使した物流ソリューションを提供しています。

自社船舶による自然災害に強いネットワークを持ち、安定した輸送を提供するほか、「グリーン物流」をいち早く提唱するなど、物流環境先進企業としてお客さまの企業活動を支援する戦略的物流の提供に努めています。

主な事業会社

センコー(株)／(株)ランテック／東京納品代行(株)／
センコーエアラインアマン(株)／アクロストランスポート(株)／
日本マリン(株) ほか



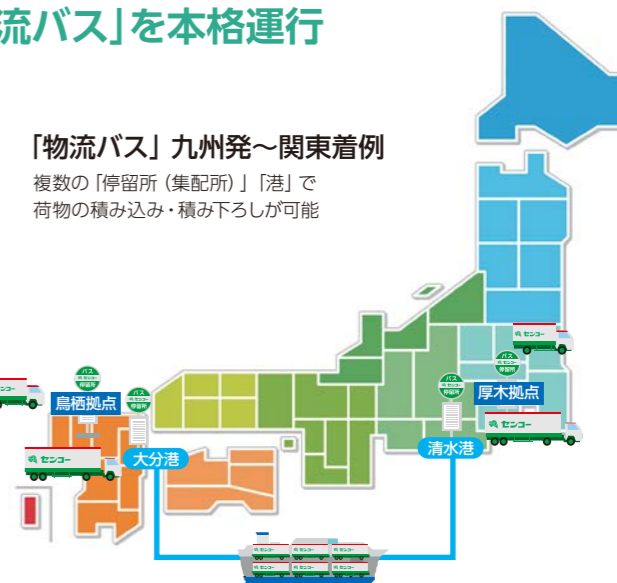
TOPICS

運輸業界の課題解決にも貢献

長距離幹線輸送の新サービス「物流バス」を本格運行

センコー(株)は、九州～本州(関西・中部・関東)間において「物流バス」の運行を開始しました。お客さまの荷物量にあわせてスペースを販売し、複数の「停留所」で乗り降りできる、路線バスのように利便性の高い長距離輸送として注目されています。

昨今、ドライバー不足や働き方改革等により、片道600kmを超える長距離輸送は安定的なサービスの提供が難しくなっていますが、センコー(株)はドッキング輸送やトラック・船・鉄道を複合した多彩な輸送チャンネルで安定的な配送を行っています。この「物流バス」の仕組みを普及させ、運輸業界の課題解決にも貢献していく考えです。

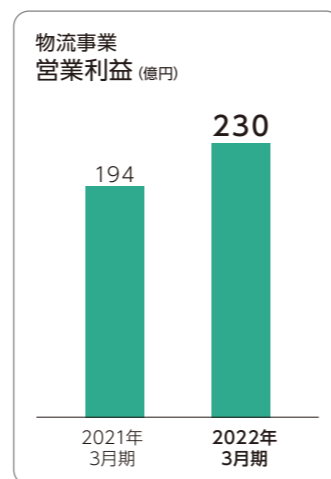
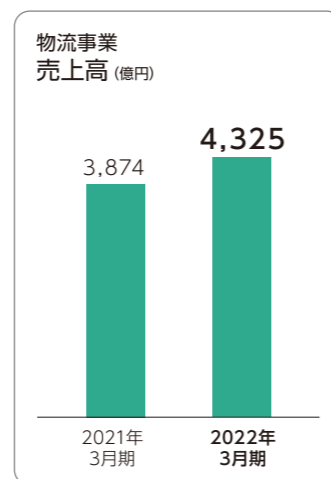
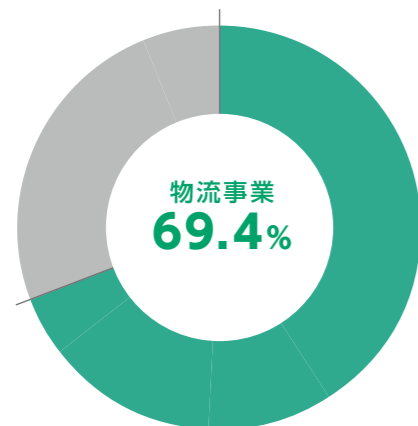


「物流バス」九州発～関東着例
複数の「停留所（集配所）」「港」で
荷物の積み込み・積み下ろしが可能

事業概況

燃料価格の上昇影響などがありましたが、前期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて大きく減少した物量が回復する中、拡販ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むとともに、M&Aの収益寄与があったことなどにより、売上高は4,325億38百万円と対前期比451億88百万円の増収、セグメント利益は230億13百万円と対前期比36億15百万円の増益となりました。

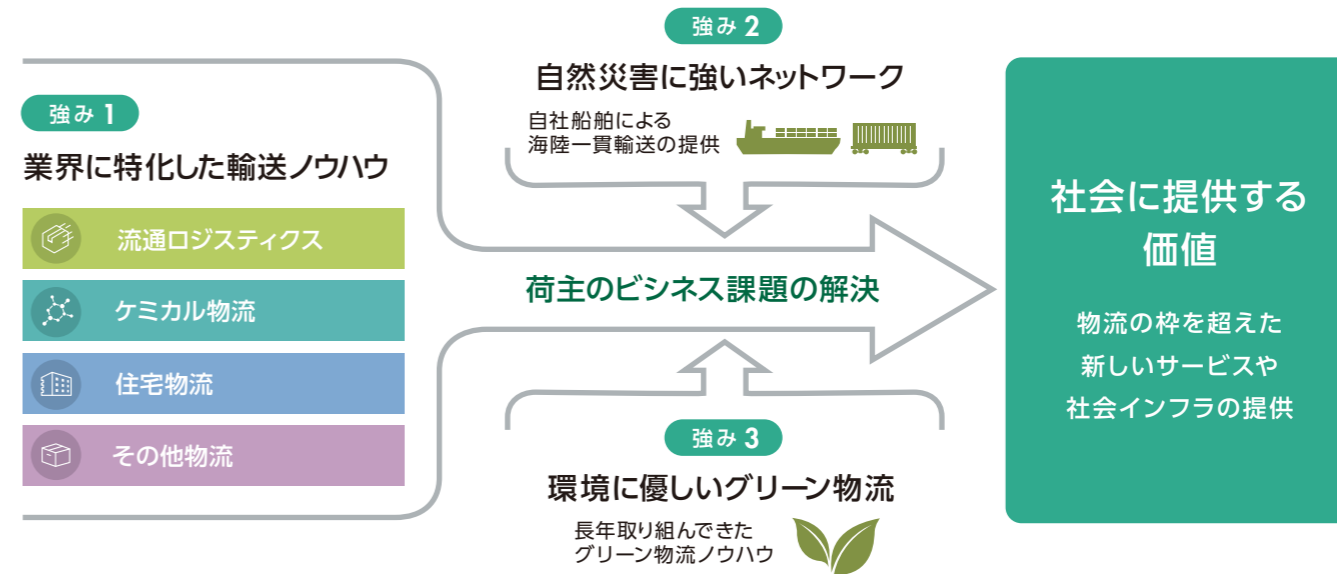
物流事業
売上構成比



事業の強み

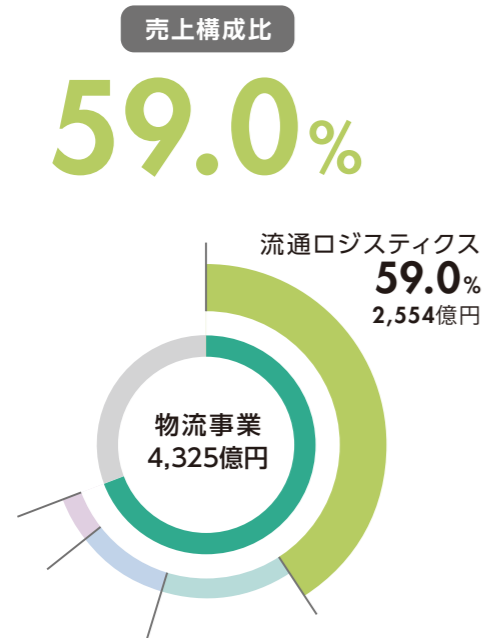
独自の強みを生かし、お客さまと社会に新しい価値を提供

各業界の輸送ノウハウを、創業以来100年にわたり蓄積するセンコーグループ。その物流品質は高く評価されています。また、船舶を保有するセンコーグループ独自の「海陸一貫モーダルシフト」「グリーン物流」により、効率的かつ環境負荷の少ない輸送を実現し、お客さまの企業価値向上に貢献しています。



物流 事業グループ

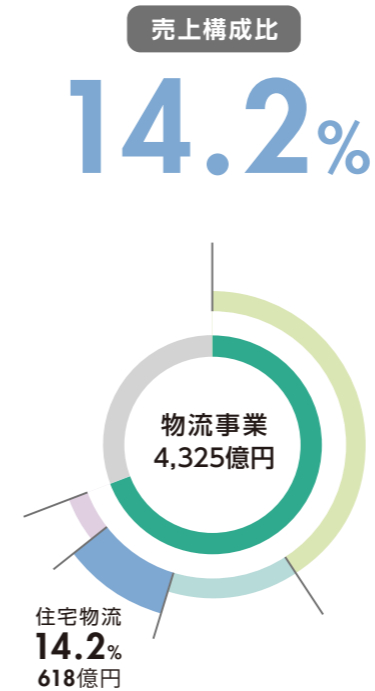
流通ロジスティクス



量販・小売、食品、ファッションなど

チェーンストアさまの物流実績をもとに、流通業のあらゆる業態のお客さまに最適な物流ソリューションを提供しています。ファッション物流では海外生産から国内店舗までシームレスに対応し、商品管理、流通加工やQC(品質管理)業務も行っています。

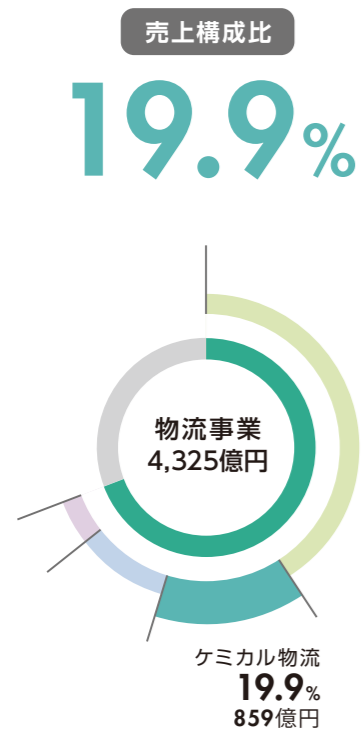
住宅物流



住宅メーカー製品や関連資材など

工業化住宅の発展とともに歩み、トップクラスの実績を誇る住宅物流。物流と情報を一体化した独自のロジスティクスシステム「TGC-J」を構築。さらに共同配送、ジャスト・イン・タイム配送、重量物配送など多彩なサービスで信頼を獲得しています。

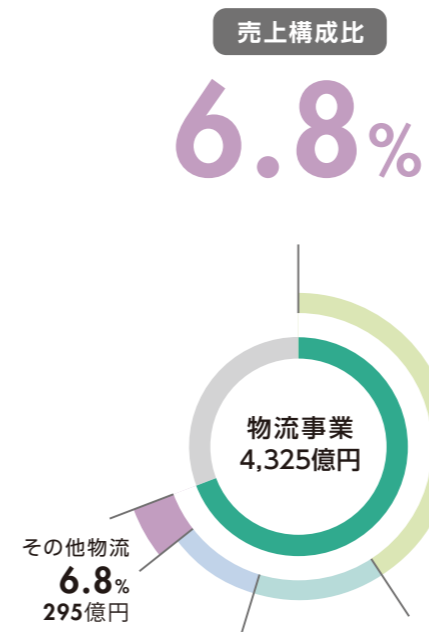
ケミカル物流



樹脂原料や樹脂成型品、加工品など

創業以来蓄積してきたケミカル物流のノウハウを生かし、原材料調達から受注、工場内物流、保管・配送まで、総合的なオペレーションを実施。物流予算作成や需給計画立案など、企画管理部門機能の包括アウトソーシング業務も行います。

その他物流



個人・法人向け、病院引越など

個人向けには、国内・海外拠点ともダイレクトにつながった安心快適な引越サービスを提供し、法人向けのオフィス移転なども行っています。また、培った物流技術を生かした病院移転や患者移送も行い、病院機能を止めることのない綿密かつ確実な移転作業に高い評価を得ています。

商事・貿易

事業グループ

「物流」と「商流」を一体化、 最大効率を追求した 商事・貿易事業をグローバルに展開

お客さまの製品・原材料の輸出入、海外取引をサポートする貿易事業を展開しています。

酒類・紙製品の卸、食品や物流関連商材販売、石油カードによる燃料販売など、いずれの事業・業務においても、物流システム、情報システムと一体化させて最大効率を追求。従来の物流企業の枠組みを超え、多様なサプライチェーン・事業をつなぐことで新たなビジネス創造を目指します。

主な事業会社

センコー商事(株)／アスト(株)／(株)スマイル／アズフィット(株)／(株)丸藤／(株)SENKO International Trading ほか



TOPICS

家庭紙商社をグループ化し、
シナジーを高める

グループ連携で、家庭紙卸業界のシェア拡大を目指す

2021年11月、家庭紙・日用雑貨の卸売や企画・販売などを行う家庭紙の総合商社(株)カルタス(本社:東京都中央区)をグループに迎えました。

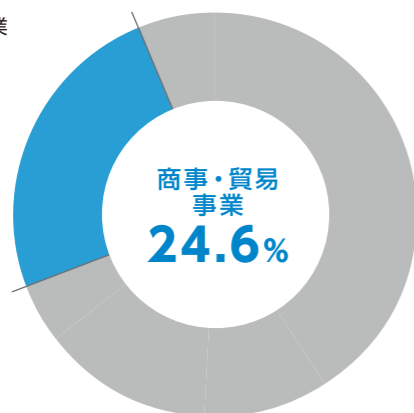
当社グループでは、アスト(株)、アズフィット(株)が家庭紙卸売の分野で幅広い事業を展開していますが、(株)カルタスが加わることでグループシナジーをさらに加速。商品開発・価格競争力の向上、配送網やノウハウを活用した物流効率化などを進め、家庭紙卸業界でのシェアを拡大するとともに人々の快適な暮らしの創造に貢献していきます。



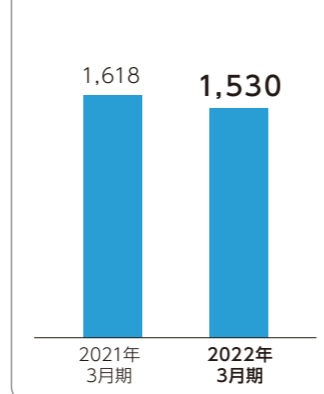
事業概況

2021年4月に家庭紙卸売のアズフィット(株)を連結子会社化するとともに、拡販ならびにコスト改善に努めましたが、収益認識会計基準等の適用影響、燃料販売における仕入れ価格の上昇などにより、売上高は1,530億49百万円と対前期比87億70百万円の減収、セグメント利益は29億5百万円と対前期比1億30百万円の減益となりました。

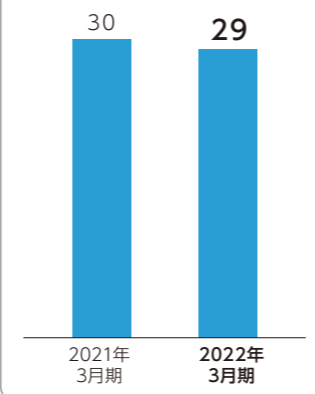
商事・貿易事業
売上構成比



商事・貿易事業
売上高 (億円)



商事・貿易事業
営業利益 (億円)

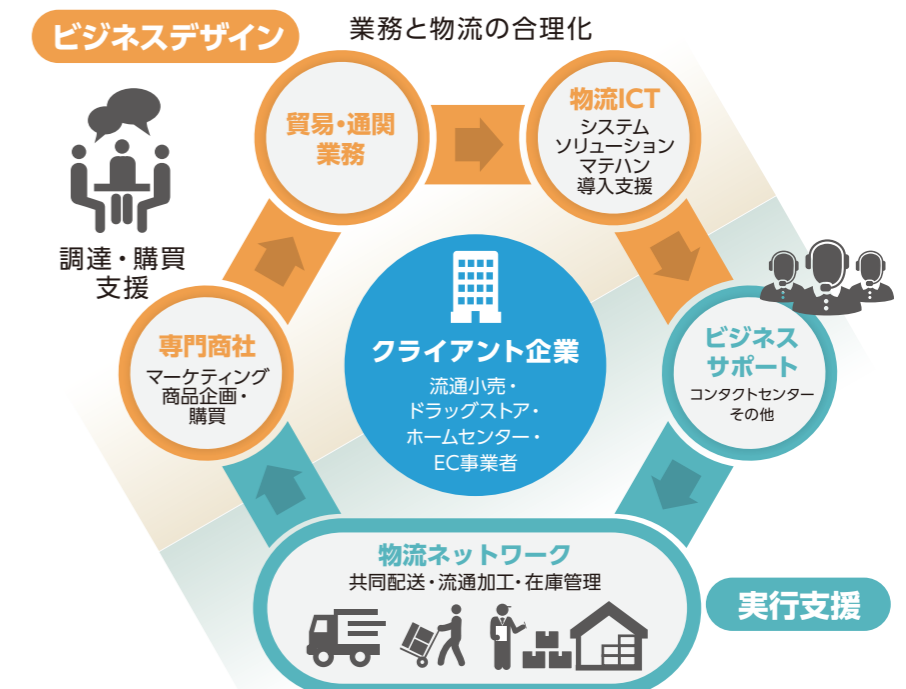


事業の強み

世界とつながる、 センコーグループの “商物一体型”ビジネス

ビジネスチャンスを見出し、さまざまな仕入先から商品を調達します。グループ各社の物流ノウハウを駆使して、ビジネスデザインの実行・完遂を支援します。

生産工場から小売店舗まで、一貫した物流オペレーションと独自の高度なITシステムにより、最適なSCMを実現。お客さまの事業展開を包括支援できるのが、センコーグループの“商物一体型”ビジネスです。



ライフサポート

事業グループ

人の暮らしに寄り添い
誰もが安心して心豊かに暮らせる
社会、地域づくりを推進

人々の生活を支援する企業グループとして、社会ニーズに応える「ライフサポート事業」に進出しています。人生100年時代の健康を見据えたスポーツジム・フィットネス運営、介護・看護サービスの提供、地域産業や雇用創出につながる農業(植物工場)事業、家事代行、保育など、グループ各社の事業は地域の持続的な発展に貢献する取り組みとして評価されています。

“一生涯を通じて生活者を支援する”ために、事業領域の拡大と事業の高度化をさらに進めていきます。

主な事業会社

ケアテラス(株)/ (株)ブルーアースジャパン/ (株)ビーナス/ 寺内(株)/ (株)プロケア/ (株)センコースクールファーム鳥取 ほか



TOPICS

関西圏でのフィットネス事業、
介護サービスを拡充

(株)COSPАウエルネスがグループに加入

2022年7月、新たにグループに加わった(株)COSPАウエルネス(旧(株)オーゼスポーツ)。「健康」に関わる事業、特にフィットネス分野で実績のあるセンコーグループのもとでの新たな成長を目指します。

フィットネスクラブ・スイミングスクール・テニスクラブなど、関西圏を中心に62施設*を運営する企業の加入により、当社グループはフィットネス事業のエリア拡大や、介護事業と連携した新サービスの開発など、健康領域の事業を強化。人々の生活を支援するライフサポート事業を発展させます。

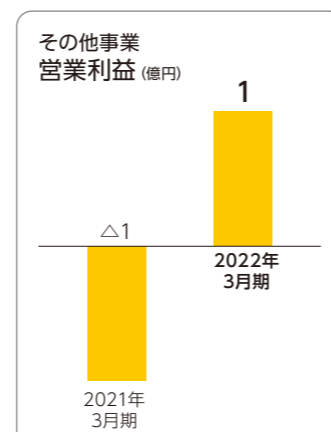
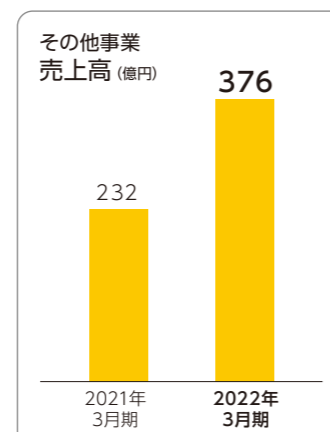
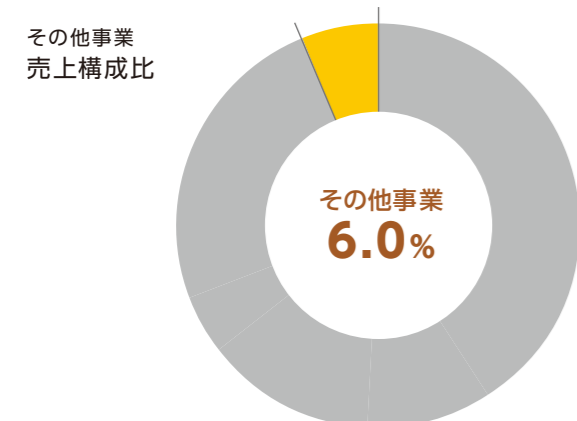
*2022年4月現在



事業概況

健康、生活、食の領域の拡大を図るライフサポート事業では、2021年1月に会員制の総合卸売・小売の寺内(株)を連結子会社化し、2022年クリーニングやコインランドリー事業を展開するダイヤクリーニング(株)をグループに迎えて事業領域を広げました。

ライフサポート事業とビジネスサポート事業を合わせた「その他事業」は、連結子会社化、拡販ならびにコスト改善などにより、売上高は375億50百万円と対前期比143億15百万円の増収、セグメント利益は99百万円と対前期比1億61百万円の増益となりました。



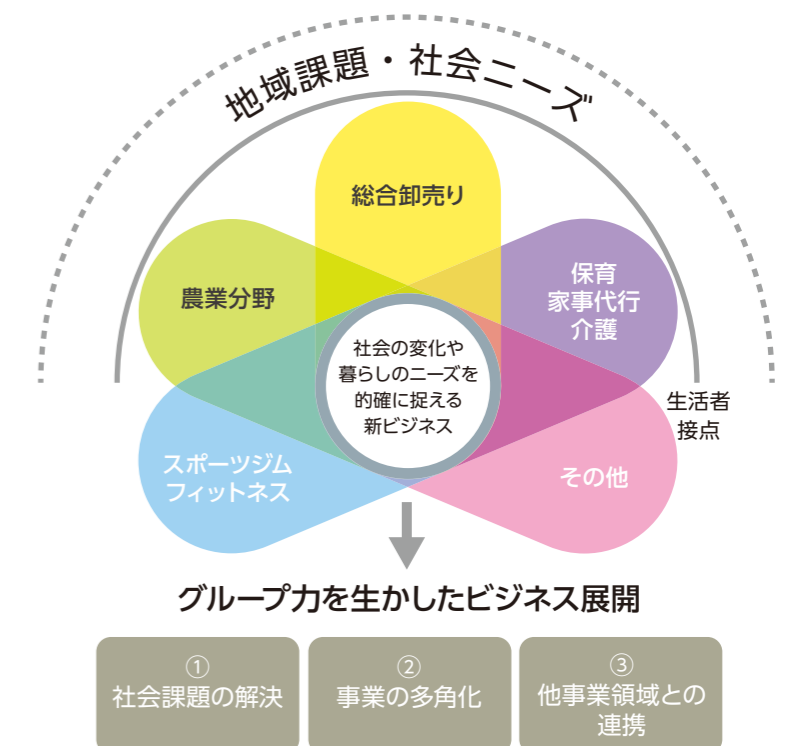
※2022年3月期までライフサポート事業とビジネスサポート事業は「その他事業」としてまとめて算出しております。

事業の役割

社会ニーズに呼応。
地域に根差し、
人々の生活を支える

ライフサポートは、世の中の動きを察知し、新しい社会価値を探し出す事業分野です。センコーグループは、現代の社会ニーズに応える、人の「健康」「生活」「食」に関わる事業を中心に投資をさらに進め、社会にインパクトを投じていきます。

また、グループ各社のシナジーを最大化させながら、生活者に寄り添う事業や新サービスの創出を加速。健康寿命の延伸や介護福祉の充実、サステナブルな地域社会の実現に寄与していきます。



ビジネスサポート 事業グループ

ソリューション・コンサルティング、ICT支援等により物流を最適化、お客さまの企業価値を高めるロジスティクスを創出

お客さまの多様なニーズに対応した「最適な物流システム」を実現するため、物流コンサルティング事業、ITソリューションシステムの開発と運用を行う情報システム事業を展開しています。

人材派遣事業、通販事業者向けのコンタクトセンター事業など、特定業務を外部受託するBPO※サービスも拡充。労働力不足などの課題を解消し、お客さまは価値を生み出す「本来の業務」に専念できるなど、企業活動を全方位からサポートします。

※BPO:ビジネス・プロセス・アウトソーシング

主な事業会社

ロジ・ソリューション(株)/センコー情報システム(株)/
センコー不動産(株)/S-TAFF(株)/センコービジネスサポート(株) ほか



TOPICS

外国人の雇用拡大、技能習得を支援

外国人人材派遣企業をグループ化し、社会需要に対応

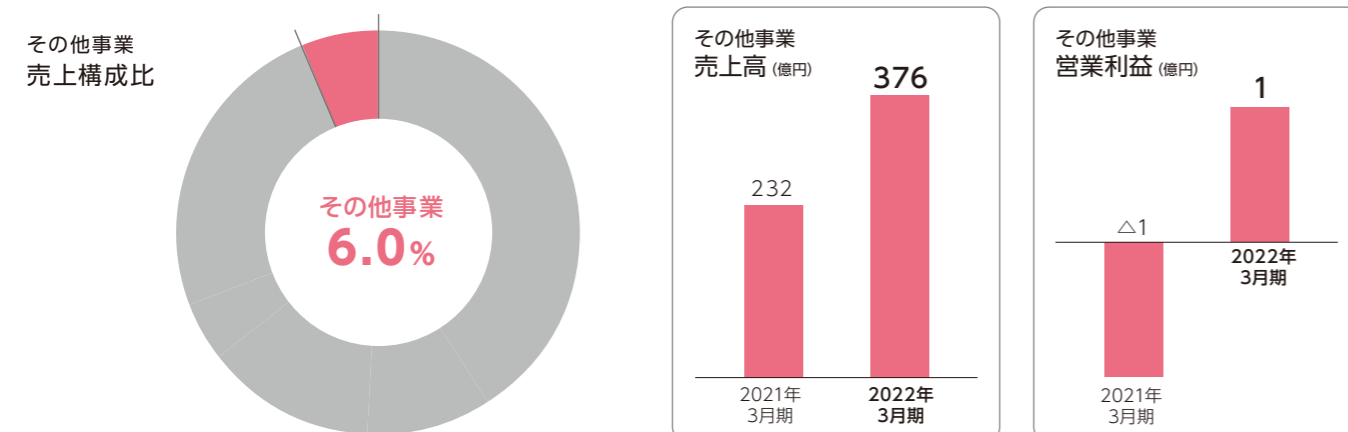
関東と愛知に拠点を持つ外国人材派遣企業(株)セルフ・グロウ(本社:名古屋市昭和区)をグループ化し、労働人口の減少で需要が高まる外国人の派遣・雇用ニーズに応えます。グループ企業S-TAFF(株)が現在展開する人材派遣事業に加え、独自の派遣先(機械・食品製造会社、介護施設、病院など)を有し、技能実習生の講習等の就労支援を行う(株)セルフ・グロウのノウハウを生かすことで、外国人材の技能習得及び派遣事業を拡充していきます。また、自社研修施設「クレフィール流山(千葉県)」で技能実習生の研修を実施するなど、互いの経営資源を活用して研修事業の規模・エリア拡大を図ります。



事業概況

外国人の人材派遣や研修事業などを行う(株)セルフ・グロウをグループに迎え、事業領域の拡大を図ったほか、当社が開発・建設した物流施設をグループ会社に賃貸するなど、新たなスキームの不動産事業を開始しました。

ライフサポート事業とビジネスサポート事業を合わせた「その他事業」は、連結子会社化、拡販ならびにコスト改善などにより、売上高は375億50百万円と対前期比143億15百万円の増収、セグメント利益は99百万円と対前期比1億61百万円の増益となりました。



※2022年3月期までライフサポート事業とビジネスサポート事業は「その他事業」としてまとめて算出しております。

事業の強み

お客さまの事業活動(バリューチェーン)全体を最適化

物流、情報、商流が一体となった最適なSCMを包括提案できるのがセンコーグループ。企業活動のさまざまな課題やビジネスプロセス業務のアウトソーシングを通じ経営効率化をサポートします。人材派遣や技能トレーニング、ICT支援、ビジネス用地取得など、多様かつ高品質なソリューションサービスを提供しています。

